

株式会社わかぶな高原

索道安全報告書

2013年

わかぶな高原スキー場

わかぶな高原クワッドリフト

わかぶな高原第1ペアリフト

わかぶな高原第2ペアリフト

わかぶな高原第3ペアリフト

1. 利用者の皆様へ

当社の索道事業に対して、日頃のご利用とご理解、誠にありがとうございます。
当社は、経営理念の第一に安全の確保を掲げ、法令の遵守とともに安全輸送に努めております。

本報告書は、鉄道事業法に基づき、輸送の安全確保のための取組みや安全の実態について、自ら振り返るとともに広くご理解いただくために公表するものです。皆様からの声を輸送の安全に役立てたく、積極的なご意見を頂戴できれば幸いです。

(株)わかぶな高原 代表取締役 永井 伸治

2. 基本方針と安全目標

(1) 基本方針

当社の経営理念の第一は、安全の確保です。「安全基本方針」を次のように掲げ、代表取締役以下従業員に周知・徹底しております。

- ① 一致団結して輸送の安全の確保に努めること。
- ② 輸送の安全に関する法令及び関連する規程をよく理解するとともに、これを遵守し、厳正、忠実に職務を遂行すること。
- ③ 常に輸送の安全に関する状況を理解するよう努めること。
- ④ 職務の実施にあたり、推測に頼らず確認の励行に努め、疑義のある時は最も安全と思われる取扱いに努めること。
- ⑤ 事故・災害等が発生したときは、人命救助を最優先に行動し、すみやかに安全適切な処置を行うこと。
- ⑥ 情報は漏れのないよう迅速、正確に伝えること。
- ⑦ 常に問題意識を持ち、必要な変革に取り組むよう努めること。

(2) 安全目標

索道輸送安全目標（平成 25 年度～29 年度）は次表のとおりです。本年度までの期間内に於いては、皆様のご協力をいただき無事目標を達成する事ができました。今後も更なる目標に向け安全管理に取り組んでまいります。

区 分	項 目	内 容
定量的な目標	設備不具合による事故	乗客の死亡を伴う事故を発生させない。
	人身障害事故	5年間の発生件数を1件以下とする。

3. 事故等の発生状況とその再発防止措置

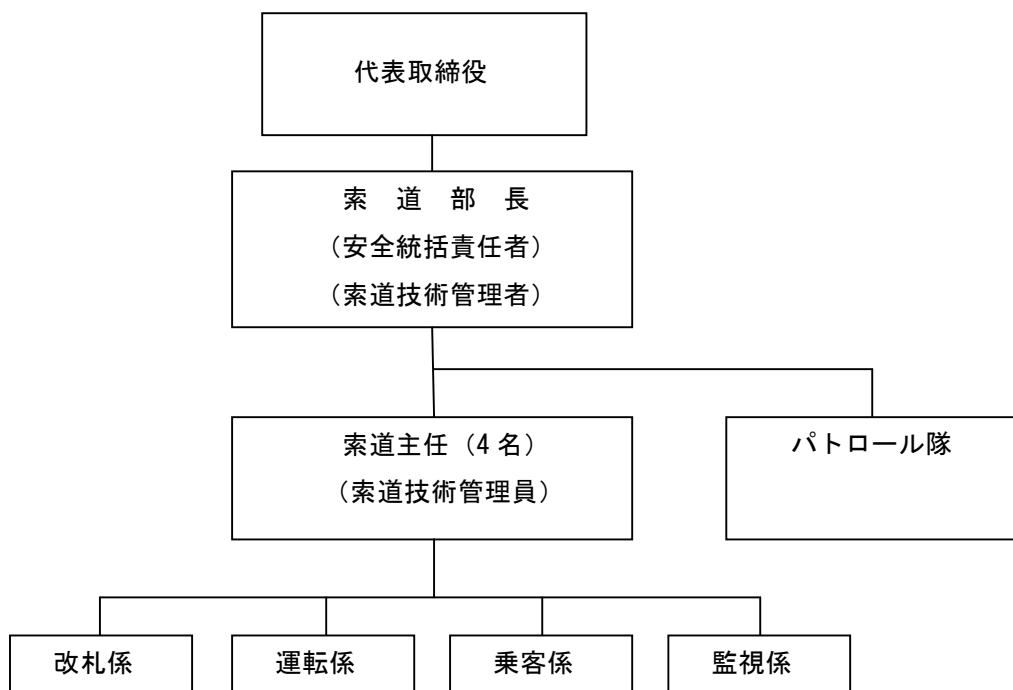
- (1) 索道運転事故（索道人身障害事故）
平成 24 年度中の索道運転事故はありませんでした。
- (2) 災害（地震や暴風雨、豪雪など）
平成 24 年度は災害による運行停止はありませんでした。
尚、強風時に安全確保の為の一時運休及び終日運休がありました。
- (3) インシデント（事故の兆候）
平成 24 年度中の国土交通省へのインシデント報告はありませんでした。
- (4) 行政指導等
平成 24 年度中の国土交通省からの行政指導はありませんでした。

4. 輸送の安全確保のための取組み

- (1) 人材教育
当社では、輸送や皆様の安全に役立つよう、シーズン開始前に索道施設の基礎的な知識、及び取扱いなどについての索道係員研修会を実施しています。
- (2) 緊急時対応訓練
毎年、索道係員研修会中に索道係員及びパトロール員により救助訓練を実施しています。
- (3) 安全の為の投資と支出
安全の維持・向上のため、計画的な定期整備と必要に応じた点検・整備・修繕を行っております。

5. 当社の安全管理体制

代表取締役をトップとする安全管理組織を構築し、各責任者の責務を明確にしています。



代表取締役	輸送の安全の確保に関する最終的な責任を負う。
索道部長 (安全統括管理者) (索道技術管理者)	索道事業の輸送の安全の確保に関する業務及び、索道の運行の管理、索道施設の保守管理その他の技術上の事項に関する業務を統括管理する。
索道主任 (索道技術管理員)	索道部長の指揮の下、索道技術管理者の行う業務を補助する。

6. 利用者の皆さまの連携とお願い

- (1) より安全で信頼される索道をつくるため、皆様からお寄せいただいた声を真摯に受け止め役立ててまいります。
- (2) リフト乗車時の注意事項
 - ① リフト利用に不安なお客様は、係員にお申し出下さい。
 - ② 空き缶・煙草の吸殻・その他の物品を、乗っているリフトから投げ捨てないで下さい。
 - ③ 搬器から飛び降りたり、搬器を揺らさないで下さい。
 - ④ 衣服・携帯品・髪の毛などが施設に巻き付かないように注意して下さい。
 - ⑤ 改札後は係員の指示に従って下さい。

7. ご連絡先

安全報告書へのご感想、当社の安全への取組みに対するご意見をお寄せ下さい。

〒959-3225

新潟県岩船郡関川村沼 132-2

株式会社わかぶな高原

わかぶな高原スキー場 索道部

TEL 0254-64-0330

FAX 0254-64-0339

E-mail info@wakabuna.com